

学校だより



令和2年 10月 29日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

励まし、励まされ

学校長 石川 秀子

感染症拡大防止のために、保護者の皆様の参観を各家庭1名に限らせていただき、平日の午前中の開催となった今年度の運動会。前日はかなりの雨量で校庭状態が心配されましたが、子どもたちの一生懸命な姿が輝く半日となりました。声援の声こそ控えて静かな雰囲気でしたが、参観された皆様の拍手と熱いまなざしは、子どもたちの心に励ましとなって届いたことと思います。

低・中・高学年ブロックごとの入れ替えで実施した運動会でしたので、登場する全学年児童を見守り、応援し続けたのは6年児童の皆さんでした。実行委員や応援団、決勝審判、放送などの役割を6年生が担い、学校のリーダーとしての頼もしい姿を見せてくれました。例年のように高学年の一員として運総会での活動を願っていた5年生には寂しい思いをさせたことと思います。次年度、どのような形で運動会が実施できるかはまだ分かりませんが、5年生の皆さんには、今年の方も運動会を盛り上げて全校を牽引する力となってほしいと願っています。

各学年の演技はそれぞれ個性的で特徴がありましたが、何よりも二谷小の子どもたちのすばらしさを感じられたのは徒競走でした。完走した後ろ姿に、全力で走る腕の振りに、そして走り終わった後の並ぶ姿に一人一人の成長を感じました。私はどのレースにも夢中になって手を叩き続けました。「がんばれ」という応援の思いと共に、こんな素敵なおもちゃが日々活動する場にいられることのありがたさを感じていました。

今、学校では「つながり郵便」に取り組んでいます。異学年間の交流が難しい中、お互いがつながり合えるきっかけを作ろうと、運営委員会が企画して運営しています。私もお手紙をいただきました。「げんきですか」「あいさつしてくれてありがとう」「学校楽しいです」「みまもってくれてありがとうございます」…。このような手紙を読んでいると、心が優しい気持ちでいっぱいになり、これからもたくさんのおもちゃたちと声を掛け合って過ごしていきたいという思いが強くなります。私たち大人は、一心に活動するおもちゃたちを励まし見守っているつもりでも、実は逆に励まされたり、勇気づけられたりしていることに改めて気付かされます。

木々が色づき始め、季節も秋から冬へと変わる時期となります。引き続き感染症対策に気を配りながらの学校生活ですが、おもちゃたちの活動を励まし、お互いに勇気をもらいながら今月も過ごしていきたいと思います。地域、保護者の皆様、今月もよろしくお祈りいたします。

【お知らせ】

活動を見合わせていました各学年の宿泊体験学習・校外学習は、感染症予防対策を取りながら以下のように変更、実施する予定です。保護者の皆様には各学年から校外学習のお知らせが配付されていることと思います。安全第一に実施したいと思っております。体調面等で不安がある場合は無理をなさらないよう、お願いします。

10月30日(金) 5年 生田緑地

11月10日(火) 1・2年 岸根公園

11月12日(木) 4年 バレエ鑑賞

11月13日(金) 3年 油壺マリンパーク

11月19日(木) 個別支援学級 反町公園

11月26日(木) 6年 よみうりランド